

2013年のシーズンが幕開け。今年も熱きスタジアムで

# 歓喜を、ともに。



(c)VFK2012

## いざ！J1の舞台へー

「Move＝原点からの挑戦」をスローガンに、J1復帰をかけて挑んだヴァンフォーレ甲府。24戦連続無敗のJ2記録とともに、クラブ史上初のJ2優勝とJ1昇格の栄冠を見事に勝ち取りました。

2013シーズンは、いよいよJ1のステージでの熱き戦いが始まりです。市民の皆さんやヴァンフォーレ甲府にとって、輝かしい1年を迎えるにあたり、韮崎高校出身の石原克哉・柏好文選手にお越しいただき、今年にかける意気込みやサポーターの皆さんへのメッセージを伺いました。

### VF優勝の要因は…

**市長：**初戦で勝って、今年は雲囲気が違うなとは思っていたけれど、降格一年でJ1に上がることはなかなか難しいかなとも思っていました。石原選手、柏選手、まずは悲願のJ2優勝と目標のJ1昇格、誠におめでとうございます。

シーズンを振り返って見ると、6月13日の水戸ホーリーホック戦から数えて、24戦連続無敗のJ2記録を樹立するなか、7月29日の東京ヴェルディ戦の後からは、一度も首位の座を明け渡すことなく優勝を決めたわけですが、ヴァンフォーレ甲府の強さの秘訣というか、優勝に至った最大の要因はどこにあると思いますか？

**石原：**監督が勝負に対してすごく執着していたことで、その熱い思いが選手にも伝わっ



石原克哉選手＝DF・背番号7  
VF甲府在籍12年目

て、例年になく団結力が生まれたことだと思います。

**市長：**城福監督のインタビュを聞くと、本当に熱い人柄が伝わってくるよね。

**柏：**サッカーに関しては本当に熱い監督なので、それが選手に浸透していました。

### 2人が選ぶ印象に残るシーン

**市長：**シーズンの全試合を通して、二人にとって特に印象に残ったシーンがあったと思うけれど、どうかかな？

**石原：**僕はプロになってから、これまで優勝の経験とかがあまりなかったんで、アウエーのアビスパ福岡戦で、優勝が決まった瞬間が特に印象に残っています。

**柏：**僕は首位に立ったホームでの東京ヴェルディ戦ですね。自分自身、ゴールも決められたし、克さん（石原選手）も点を入れたし、そういう意

味では山梨県出身の選手が、勝利に貢献できたり、会場を盛り上げられたことが一番印象に残っています。

**市長：**私も韮崎高校出身の選手が活躍したことは、後輩にとっても、いい励みになったかと思っています。石原選手はヴァンフォーレ在籍12年、今日まで長かったね。

**石原：**たってみればあつという間でした。最初のころはあまり強くなかったので長い気もしましたが。

**市長：**11月17日には、沿道をも多くのサポーターが埋め尽くすなか、祝賀パレードが行われました。パレードの雲囲気はいかがでしたか。初めて味わう歓喜の瞬間だったと思うけど。

**石原：**少し寒かったですけど、大勢の方々にきていただいで、色んなところに立って盛り上げていただきました。本

柏好文選手＝MF・背番号18

VF甲府在籍3年目





11月17日に行われた祝賀パレードで、J2優勝の証、シャーレをかざす山本英臣主将。中央は城福浩監督、左は津田琢磨選手（甲府駅前で）

当に良かったです。  
市長：パレード終了後の優勝報告会には私も出席させていただいて、壇上からのあいさつのなかで、ヴァンフォーレ甲府の主要練習会場としての誘致を表明したわけですが、中央公園芝生広場は、石原選手も柏選手も、高校時代に「武田の里」からさき・サッカーフェスティバル」などで活躍した、いわばホームグラウンドみたいなところだと思っけれど、ここに練習拠点ができるところについて、何か感想がありますか？

石原：僕はインターハイでも立たせていただいたし、小さいころから芝生の上でサッカーができる喜びを味わわせていただいたところでもあるの  
市長：僕はインターハイでも立たせていただいたし、小さいころから芝生の上でサッカーができる喜びを味わわせていただいたところでもあるの  
市長：周りが木立に囲まれている、練習会場としての雰囲気もいいよね。



主要練習会場会場としての誘致を表明する横内市長  
優勝報告会場（舞鶴公園）にて

石原：木がたくさんあって、夏は涼しく、とてもやりやすいです。  
市長：芝生広場のグラウンドで思う存分練習して、J1の舞台でもがんばってもらいたいと思っています。  
ところで、先ほども申し上げたとおり、石原選手はヴァンフォーレ甲府在籍12年目となるわけですが、長い間第一線で活躍しつづけることはとても大変なことだと感心しています。普段からの努力や心がけていることは、何かあるんでしょうか？

石原：そうですね。やるときはやる、休むときは休む、遊ぶときは遊ぶというように、生活にメリハリをつけることですかね。ストレスを溜め込んでしまつことが一番よくないことだと思います。  
市長：柏選手にとって、石原選手は高校のサッカー部を通じて先輩ということになるわけですが、選手として、また先輩として、石原選手をどのように見ていますか？  
柏：とても尊敬のできる先輩です。プレーの面でもそうですし、サッカーに対する姿勢だったり、常にチームの先頭に立ってやってくれる選手ですので、見習うところがたくさんあります。見習うところが多すぎて、とてもまねができませんが（笑）。少しでも追いつけるようにがんばっていききたいですね。  
市長：石原選手から見ると、後輩の柏選手のプレーぶりはいかがですか？  
石原：なにも言うことはないです。それくらい十分過ぎます（笑）。



(c)VFK2012

市長：いよいよ新シーズンは、J1での舞台となるわけですが、J1ともなると、ますます厳しい戦いが予想されます。そんな中でそれぞれの目標と抱負をお聞かせください。  
石原：そうですね。過去2回

J1にいたときは長くいられたので、まずは定着できるようにしたいですね。  
定着して、上位に上がっていくのには、とても重要な年になると思っていますので、監督を信じて、チーム一丸となって戦っていききたいと思っています。そのためにも向上心を忘れずにやることが鍵になってくると思います。  
柏：今年もそうでしたが、個人的には、一日一日の練習を大事にすることを常に心がけて、チームとしてもまとまって、前回みたいに一年で降格しないで、J1に定着していきけるようにがんばっていききたいと思っています。  
天性のドリブラー・柏好文選手



(c)VFK2012

市長：何回も言うようだけれど、いずれにしても厳しい戦いが続くことになると思いますので、ぜひ二人にはがんばっていただきたい、地元で喜びや感動を与えてもらいたいと願っています。

石原・柏：がんばります。

## Ｊリーグを目指す子どもたちへ…

市長：韮崎市では、サッカーを通して活力あるまちづくりを推進するため、「サッカーのまちづくりプロジェクト」を立ち上げ、佐久間ゼネラルマネジャーやヴァンフォーレ甲府の選手の皆さんにもご協力いただきながら、様々な取り組みを進めています。特に、将来のＪリーグを目指す後

VF甲府のユナイティッド・プレイヤー石原克哉選手

輩や子どもたちに、何かアドバイス等がありますか？

石原：そうですね。プロチームが身近なところにあるので、プレーなどを参考にしてもらえたらいいなと思います。

また、私たちのように韮崎高校出身でプロになっている選手もいるわけですから、それほど遠くない存在だということを感じていただいて、目標にしてもらえれば、きっとプロになれると思います。

いつも向上心ということを頭に入れながら、練習に取り組んでほしいと思います。

市長：柏選手はどう？

柏：まったくそのとおりだと思います。  
市長：特に韮崎高校出身の二人には、これからもがんばっていただいて、子どもたちの目標でいてほしいと思います。

## プロビンチアの象徴

市長：城福監督がインタビュアーのなかで『ヴァンフォーレ甲府が全国のプロビンチアクラブの象徴になりたい』（※プロビンチア＝住民に支えられた地域の中小クラブ）と良く言われますが、これを読み聞いて、その昔、ヴァンフォーレ甲府が存続の危機に陥ったときに、当時の川淵チエアマンが山梨にきて、「ヴァンフォーレ甲府こそが、私の一番理想とするクラブである」

という発言をされたことを思い出しました。

地域住民が支えるクラブが理想であるという意味での発言だったわけですが、いままさにこのプロビンチアに通じるものと、城福監督の言葉を聞いて、本当にうれしいことだなと、あらためて感じたところですね。

二人は、サポーターの応援を感じながらプレーをしているのかな？

石原：僕が加入した年がまさに存続の危機の年でしたので、サポーターの皆さんに支えられていることをいつも実感しています。いまはたくさんサポーターが見えてくれますが、少ない時期も経験していますので、いまは本当に幸せに感じています。



サッカーのまちづくりプロジェクト事業の一環で、ボールと遊ぶ子どもたち（U-3親子サッカーフェスティバル＝グリーンフィールド穂坂）



将来のＪリーグを目指す子どもたち（韮崎中央公園）

これに満足することなく、もっと大勢の人にスタジアムに足を運んでいただけると努力していきたいと思えます。

柏：中銀スタジアムのピッチは他の会場と違って、いつも熱いというか、独特の雰囲気でも、とてもプレーしやすいですし、アウェーでも多くのサポーターが応援に駆けつけてくれて、ホームのような雰囲気を作り出してもらっていますので、サポーターの皆さんには本当に感謝しています。

市長：いつもそんなに遠くまで来てくれるの？

柏：本当に遠くまで応援にき



「ーラは神さまのお使いで、夢をかなえる不思議なカエル。今年もV.F.甲府にとって輝かしい一年となりますように...」。

ていただいています。すくうれしいことです。

**サポーターに向けて...**

市長：韮崎市のホームタウンサンクスデーは松本山雅戦だったけど、松本も甲府のような雰囲気は持っていたよね。甲信タービーでしたか、青と緑がスタジアムを埋め尽くして、とてもいい雰囲気だったと思います。ああいうチームが近くにいる、お互いに切磋琢磨していければ、Jリーグはもっと盛り上がりが出ていけるよね。韮崎市もホームタウン

の一員として、今後も積極的に支援していきますが、市民やサポーターに向けて、ひとことお願いします。

石原：練習拠点にしてもらえるということでも感謝しています。これまで以上にヴァンフォーレ甲府を身近に感じてもらえると思いますので、時間があるときには、ぜひ練習を見に来てください。

市長：子どもたちにも大勢練習を見に来てもらいたいよね。

柏：そうですね。そうすればもっとサッカーが楽しくなると思います。

市長：練習試合はどのくらいやるの？

石原：シーズン中は、週に一回くらいのペースでやっています。

市長：二人ともオフシーズンはどうやって過ごしているのかな。忙しいんでしょうね。

石原：柏選手は忙しいですが、僕は案外暇です(笑)。

柏：そんなことはないです。僕もいつも暇しています。

市長：最後に、新シーズンのヴァンフォーレ甲府は、とて



対談を終えて、新シーズンの活躍を誓う石原選手・柏選手(市長応接室)

も厳しい試合が続くと思いますが、ガンバ大阪のようなビッグクラブがJ2に降格するようになれば、このところのJリーグは実力が伯仲していると思いますので、ぜひがんばってほしいと思います。

お二人には本当に期待しています。今日はありがとうございました。

石原：期待に応えられるように、一生懸命がんばります。今日はありがとうございました。

柏：ありがとうございます。僕もがんばります。



**2013 クラブサポーター 会員募集**



対象試合:2013 Jリーグ・ディビジョン1リーグ戦/リーグカップ戦(予選リーグ) ホームゲーム全試合(天皇杯は対象外)

2013年度より会員証をゲート端末にかざしていただき来場を記録することにより、ポイントが付与されます。貯まったポイント数に応じて、特典をご用意いたします。

お問い合わせ・お申し込み  
**(株)ヴァンフォーレ山梨  
スポーツクラブ**  
**055-254-6867**

個人サポーター種別	座席	年会費	特典
メイン指定 (2013.1.23 締切)	大人	メインスタンド	①会員証1枚(新規のみ) [カードケース・ストラップ付] ②ホームゲーム全試合観戦可 [協力会員除く] ③ホームゲームチケット先行購入 ④ホームゲーム当日券を前売価格で購入(1人1枚) ⑤オフィシャルハンドブック進呈 ⑥サポーターズショップにて優遇 ⑦サポーター感謝デーへの参加 ※継続入会者で会員証を持っている方にはオリジナルグッズプレゼント
	小中高	メインスタンド	
メイン自由	大人	メインスタンド	
	小中高	メインスタンド	
バック指定 (2013.1.23 締切)	大人	バックスタンド	
	小中高	バックスタンド	
バック自由	大人	バックスタンド	
	小中高	バックスタンド	
ホーム自由 (サポーターズエリア)	大人	ホーム側	
	小中高	サイドスタンド	
協力会員(複数可)	※観戦はチケット購入	5,000円	

2月8日(金)までにお申し込みいただいた方に限り、開幕戦から「会員証」をご利用いただけます。